

大倉ダムの魅力発信事業 ～鯉のぼり×大倉ダム～

宮城西市民センター × 青葉区中央市民センター

1 事業概要

日本で唯一のダブルアーチ式ダムである大倉ダムの魅力と、その周辺の素晴らしい景観を広く発信しようと、平成29年度に市民企画会議「大倉ダムの魅力発信」を立ち上げ、令和元年度からは、青葉区区民協働まちづくり事業を活用して、鯉のぼりの係留イベント「鯉のぼり×大倉ダム」を始めました。令和3年度は、5月1日から5日まで、大倉ダム下公園を会場に開催し、多くの方が来場しました。



2 今年度の活動



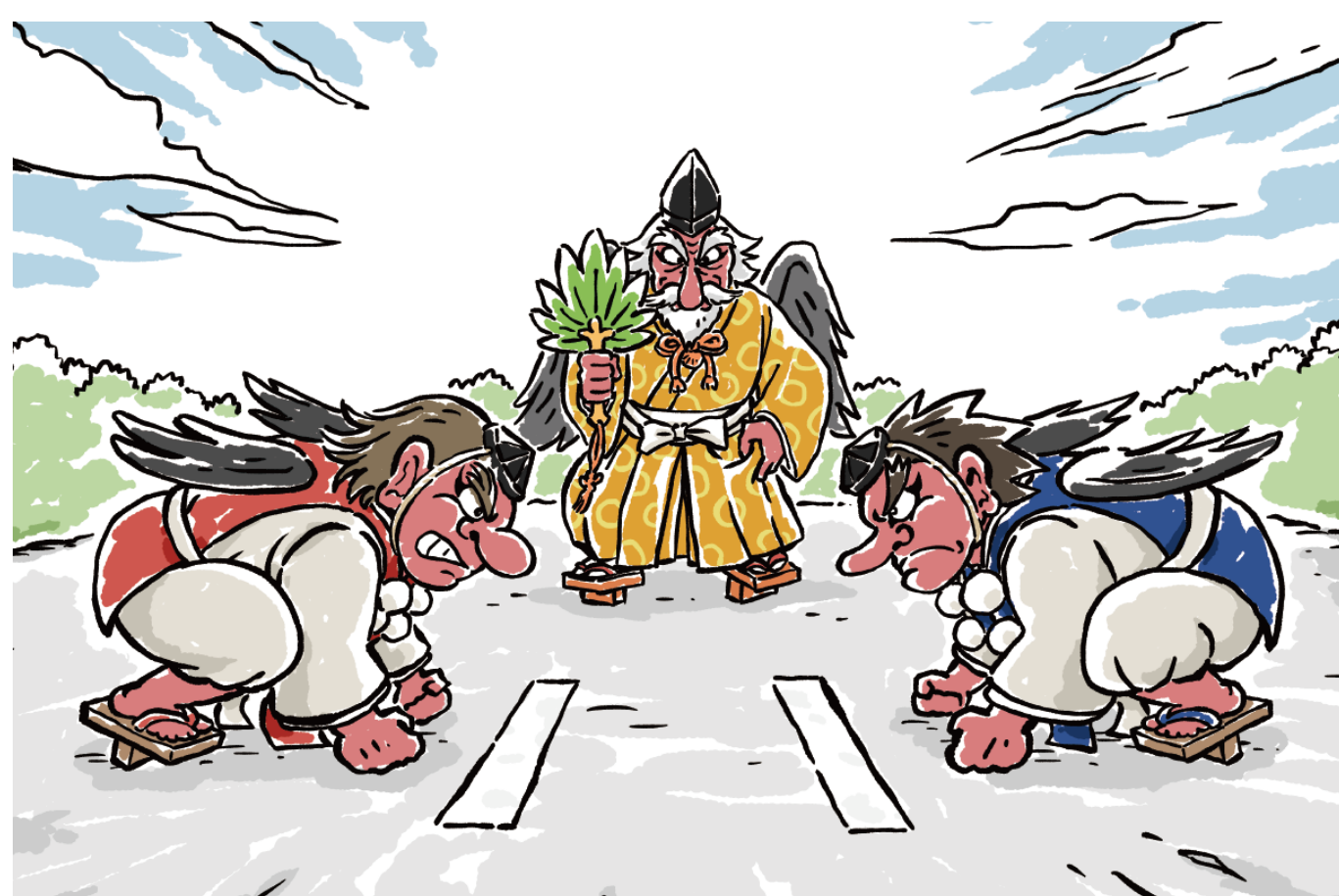
会場の賑わいづくりのために計画していた、顔出しパネルの設置、子どもたちが触れる大きな鯉のぼりの係留、キッチンカーの手配などは、コロナ禍のために実施することができませんでした。それでも、新しく作ったのぼり旗を会場とその周辺に配置し、少し暗かった会場の雰囲気をもっと明るくすることができ、また会場への誘客にも一役買うことができました。

3 成果と課題

大倉ダム下公園の東側に立つ高柵山とその岩峰群の景観は素晴らしく、これをPRするために何か名前が付いていないかと調べていると「あれ、天狗岩というんでないの？」という人が現れました。それを確かめるために、地元の古老に聞き取り調査をしたり、昔話や古い文献を調べたりして活動の幅が広がったことは、一つの大きな成果でした。今後は、これの信憑性について検証していくことが求められます。



4 今後の展望



コロナウィルスの感染拡大が収まって、会場の賑わいづくりが可能となれば、顔出しパネルやキッチンカーを配置して、会場での滞留時間を延ばす工夫をします。また、この地に伝わる「天狗伝説」もクローズアップして、大倉ダムだけではなく、この地域全体の魅力を広く発信して行きます。